イベントログ一覧

※一覧表の「通報」欄に「○」が記述されているメッセージは、ESMPRO/ServerManagerのアラートビューアに通報されます。

イベントソース名：ESMPRO/AC

①運用時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
1001	情報	×	×	ESMPRO/ACサービスを起動しました。 起動情報：****	ESMPRO/ACサービス起動時に記録されます。起動情報には、サーバの電源投入の原因となった電源投入要因が記録されます。
1002	情報	×	×	電源切断条件が成立しました。サーバのシャットダウン処理を開始します。 電源切断情報：****	ESMPRO/ACが監視している電源切断要因が成立し、サーバのシャットダウンを行う時に記録されます。「電源切断情報」は、その時、発生している切断要因が表示されます。
1003	警告	×	×	異常発生により、縮退運転を行います。ESMPRO/ACサービスは、正常動作への復帰を試みます。縮退運転中は、電源切断監視は行われません。	自動電源制御装置との通信異常などによって、ESMPRO/ACサービスの自動電源制御を継続できなくなった時に表示されます。本警告メッセージ記録後、ESMPRO/ACサービスは、正常運転への復帰を試みるため、異常要因が取り除かれた場合、正常運転に復帰します。
1004	情報	×	×	縮退運転から、正常運転に復帰しました。自動電源制御を再開します。	縮退運転状態になった原因が取り除かれ、ESMPRO/ACサービスが正常運転に復帰した時に記録されます。
1005	情報	×	×	ユーザの要求により、縮退運転を中断します。 ESMPRO/ACサービスは、正常運転への復帰処理を中止します。	縮退運転状態中に、自動電源制御装置からHWエラーを取得した時に記録されます。

1006	情報	×	×	ユーザの要求により、サービス再起動処理を行いました。自動電源制御を開始します。	ESMPRO/ACサービスがユーザの要求により、自動電源制御を再開した時に記録されます。
1007	情報	×	×	ユーザの要求により、サービス停止処理を行いました。自動電源制御を停止します。	ESMPRO/ACサービスが、ユーザからの要求により自動電源制御を停止した時に記録されます。本メッセージ表示後は、一切の自動電源制御は行われないが、サービスはプロセスを終了しません。この状態から、ユーザの要求があれば自動電源制御を再開します。
1008	エラー	×	×	縮退運転中に異常が発生しました。ESMPRO/ACサービスは、正常運転に復帰することができません。ESMPRO/ACサービスは強制終了します。	縮退運転中に、縮退運転に遷移する原因となった異常要因以外の別の致命的な異常要因が発生した時に記録されます。本イベントが記録された時、ESMPRO/ACサービスプロセスは、ダンプを採取して強制終了します。
1009	情報	×	×	外部からのシャットダウン要求が発生しました。ESMPRO/AC サービスを終了します。	スタートメニューなど、ESMPRO/AC以外からシャットダウンが実行された時に記録されます。
1010	情報	×	×	ESMPRO/AC サービスの停止要求が発生しました。ESMPRO/AC サービスを終了します。	サービスマネージャによって、ESMPRO/ACサービスが停止された時に記録されます。
1011	情報	×	×	UPSが交換されました。自動運転情報の再設定を行います。	UPS装置が交換され、自動運転情報を再設定する時に記録されます。
1012	情報	×	×	UPS交換後の自動運転の自動運転情報の自動再設定は、正常に終了しました。	UPS装置交換後の自動運転情報の自動再設定が正常終了した時に記録されます。

1013	エラー	○	×	UPS交換後の自動運転の再設定で異常が発生しました。UPSのオプションカードスロットに実装されるオプションカードの構成が交換前のUPSと異なっている場合は、自動再設定は正常に行えません。サーバをシャットダウンして電源を切断した後、UPSのオプションカード構成を装置交換前と同じに構成にして、サーバを起動して下さい。オプションカード構成を変更する場合は、シャットダウンせずに装置の初期化を行って、全ての自動運転の設定を再度行って下さい。	UPS装置が交換前と交換後で異なる場合に記録されます。本イベントが記録された場合は、UPS装置が交換前と交換後で同じ構成になっているか確認して下さい。
1014	情報	×	×	バックアップ情報のリストアを行います。	バックアップ情報のリストア処理を行う時に記録されます。
1015	情報	×	×	バックアップ情報をリストアしました。	バックアップ情報のリストア処理終了後に記録されます
1016	エラー	×	×	UPSのオプションカード構成が、バックアップデータと一致しません。バックアップデータをリストアできませんでした。	バックアップ情報のリストア処理時に、バックアップ情報のUPSオプションカード構成と現在のUPSオプションデータ構成が異なりバックアップデータのリストア処理に失敗した場合に記録されます。バックアップ情報のリストア処理を正常に実施するには、バックアップデータのUPSのオプションカード構成と現在のUPSのオプションカード構成を同じにして下さい。
1017	エラー	×	×	バックアップ情報のリストア処理に失敗しました。原因として、バックアップ情報を作成したハードウェア構成と現在の構成が違っている可能性があります。ハードウェア構成を確認して下さい。	バックアップ情報のリストア処理時に、バックアップ情報のUPSオプションカード構成と現在のUPSオプションデータ構成が異なりバックアップデータのリストア処理に失敗した場合に記録されます。UPSのLANカードのオプションカード構成が異なる可能性があります。バックアップ情報のリストア処理を正常に実施するには、バックアップデータのUPSのオプションカード構成と現在のUPSのオプションカード構成を同じにして下さい
1018	エラー	×	×	バックアップ情報のリストア処理に失敗しました。 エラー情報：****	バックアップ情報のリストア処理失敗時に記録されます。

1101	エラー	○	×	ESMPRO/ACのレジストリ情報が不正です。正しくインストールされていない可能性があります。インストール状態の確認または、ESMPRO/ACの再インストールを行ってください。 エラー情報 Thread　: **** Function : ****	ESMPRO/ACサービスが制御情報として利用しているレジストリ情報を、正常に入手する事ができない時に記録されます。レジストリが存在しないか、レジストリ内の情報が破壊されている可能性があります。 本イベントが記録された場合は、インストール状態の確認またはESMPRO/ACの再インストールを行って下さい。
1102	エラー	○	○	運用中に、自動電源制御装置との通信に失敗しました。自動電源制御を中断します。原因として、自動電源制御装置の構成情報が間違っているか、接続状態を含むハードウェア異常が考えられます。設定および接続状態を確認してください。 エラー情報 Command　: **** ErrorNo. : ****	自動電源制御装置との通信異常が発生した時に記録されます。 ESMPRO/ACサービスがSNMPカードを使用して動作している場合、SNMPカードへ設定したIPアドレスがESMPRO/ACの設定情報と一致していない、SNMPカードへのアクセス権の設定が正しく行われていない、または、自動電源制御装置側でHW不良が発生している等が考えられます。 ESMPRO/ACサービスがUPS制御ソフトウェアと連携して動作している場合、UPS制御ソフトウェア側の自動電源制御装置のCOMポート設定が間違っている可能性があります。または、RS-232Cケーブルの接続不良や、COMドライバの設定不良により、UPS制御ソフトウェアが動作していない場合等が考えられます。 本イベント発生時は、自動電源制御装置構成情報の設定および接続状態を確認してください。
1103	エラー	○	×	ESMPRO/ACサービス内部処理で致命的なエラーが発生しました。ESMPRO/ACサービスを終了します。 エラー情報 Thread　: **** Function : **** ErrorNo. : ****	ESMPRO/ACサービス内部の処理で致命的なエラーが発生した時に記録されます。ESMPRO/ACサービスは、強制終了します。メモリ不足などによって、サービスが必要とする資源を取得する事ができなかった場合や、ハードウェアに異常がある可能性があります。 本イベント発生時は、ESMPRO/ACサービスを再起動して下さい。
1104	エラー	○	×	スケジュール情報が不正または存在しません。スケジュールによる監視は行われません。	監視要因にスケジュールONまたはスケジュールOFF が設定されているが、スケジュール情報を取得する事ができない場合に記録されます。スケジュールファイルが破壊されているか存在しない場合可能性があります。 本イベント発生時は、スケジュールの有効期間およびスケジュールの内容を確認の上、再度スケジュールの設定を行って下さい。

1105	エラー	○	○	自動電源制御装置からエラーを受信しました。 ESMPRO/ACサービスを終了します。 エラー情報 Command : **** ErrorNo. : ****	自動電源制御装置からエラーを受信した時に記録されます。自動電源制御装置の故障または、ESMPRO/ACサービスから自動電源制御装置への制御不良が起こった場合に発生します。自動電源制御は継続できないため、ESMPRO/ACサービスは強制終了します。 本イベント発生時は、電源切断後サーバと自動電源制御装置間の接続状態を点検して下さい。
1106	エラー	○	×	サービス内部処理でエラーが発生しました。 エラー情報 Thread : **** Function : **** ErrorNo. : ****	メモリ不足、OSの異常動作、ハードウェア異常等によって、サービスが必要としている資源を取得することができなかった場合等に記録されます。 サービスは処理を継続するが、このメッセージ表示後の正常動作は保証されません。 本イベント発生時は、サービスを再起動して下さい。
1108	エラー	×	×	自動電源制御装置に実装されているLAN監視ボートへの初期情報の自動設定に失敗しました。	自動電源制御装置(I-UPS)に実装されているLAN監視ボードへの初期情報の自動設定に失敗した時に記録されます。ハードウェアの故障、オプションスロットの構成が変更された場合にも記録されます。
1109	エラー	×	×	自動電源制御を行うために必要なダイナミックリンクライブラリのリンクに失敗しました。ESMPRO/ACサービスは、自動電源制御装置なしのモードで自動電源制御を行います。	ESMPRO/ACが必要なDLLをリンクする事ができない場合に記録されます。原因として、必要なDLLが存在しない、パスかつながっていない、ファイル破壊が考えらます。また、ESMPRO/AC環境ウィザードで、連携情報が正しく設定されていない可能性もあります。本イベント発生時は、これらの原因を確認の上、サービスを再起動する必要があります。
1110	警告	×	×	xxxx のライセンスが未処理です。 Installは **** で行われました。 AMCにてライセンス処理を行ってください。	BladeServerにて、xxxxで示すパッケージがWebSAM DeploymentManagerなど(****で示す)により Installされたが、AC Management Console(AMC)によるライセンス処理がまだ行われていない場合に記録されます。 AMCを使用して、ライセンス処理を行う必要があります。

②クラスタ関連ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
1301	エラー	○	×	クラスタ連携処理で異常が発生しました。ESMPRO/ACサービスはクラスタ連携処理を中止します。 情報:****	クラスタより提供されるAPIの実行でエラーが発生し、クラスタ連携に必要な情報を取得できずクラスタ連携を中止した時に記録されます。 本イベントが記録された時は、クラスタの動作状態を確認して下さい。
1302	エラー	○	×	クラスタサーバとの通信でエラーが発生しました。ESMPRO/ACサービスはクラスタ連携処理を中止します。	クラスタシステムで、フェイルオーバーが発生またはネットワークに異常が発生した時に記録されます。異常発生後は、異常が発生したサーバをクラスタ連携サーバから切り離して自動運転を行います。 本イベントが記録された時は、ネットワークの状態を確認して下さい。
1303	情報	×	×	クラスタ連携異常が回復しました。ESMPRO/ACサービスは、クラスタ連携処理を再開します。	クラスタシステムで、フェイルオーバ等の異常が発生した後に、その障害が取り除かれ異常が発生したサーバがクラスタへ復帰した時に記録されます。また、ネットワーク異常が正常状態に回復した時にも記録されます。ESMPRO/ACは、異常が発生したサーバを再度クラスタ連携サーバとして連携動作します。
1304	エラー	×	×	電源異常時のクラスタシャットダウン処理でタイムアウトが発生しました。ESMPRO/ACは、クラスタからのシャットダウン要求を待たずに強制的に電源切断処理を実行します。	電源異常時のクラスタシャットダウン実行時に、クラスタシャットダウン処理が指定時間内に完了せず、ESMPRO/ACが強制的にシャットダウンを行った場合に記録されます。本イベントが記録された時は、停電時のクラスタシャットダウンの設定時間を見直して下さい。
1305	エラー	×	×	TCP/IP環境を使用できません。クラスタ連携処理を行うことができません。	TCP/IPを利用することができないため、クラスタ連携処理を行えない時に記録されます。ESMPRO/ACが使用するポート番号が、他のアプリケーションによって使用さているか、TCP/IP環境が設定されていない、ハード的な資源不足等が原因と考えられます。本イベントが記録された時は、ネットワーク環境を再度見直して下さい。
1306	情報	×	×	クラスタ連携処理を開始しました。	クラスタ連携処理を開始した時に記録されます。

1307	情報	×	×	クラスタからシャットダウン開始通知を受信しました。	クラスタシステムにおいて、クラスタからのクラスタシャットダウン開始通知を受信した時に記録されます。
1308	情報	×	×	クラスタからクラスタシャットダウン完了通知を受信しました。	クラスタシステムにおいて、クラスタからのクラスタシャットダウン完了通知を受信した時に記録されます。
1309	情報	×	×	クラスタからサーバシャットダウン完了通知を受信しました。	クラスタシステムにおいて、クラスタからのサーバシャットダウン完了通知を受信した時に記録されます。
1310	情報	×	×	シャットダウンリブート通知を受信しました。	クラスタシステムにおいて、クラスタからのシャットダウン通知にリブートが指定されている時に記録されます。
1311	情報	×	×	クラスタへクラスタシャットダウン処理の開始を通知します。	クラスタシステムにおいて、クラスタへクラスタシャットダウン開始処理を要求する時に記録されます。
1312	情報	×	×	クラスタへサーバシャットダウン処理の開始を通知します。	クラスタシステムにおいて、クラスタへサーバシャットダウン開始処理を要求する時に記録されます。

③電源異常関連ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
1401	警告	×	×	電源異常が発生しました。	電源異常を検知した時に記録されます。
1402	情報	×	×	電源が正常状態に復帰しました。サービスは自動運転を継続します。	電源異常から電源正常に復帰した時に記録されます。
1403	警告	×	×	電源異常によりシャットダウンを行います。	電源異常シャットダウンが行われる時に記録されます。

④ESMPRO/AC Enterprise関連ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
1410	警告	○	×	****との通信異常が発生しています。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)との通信異常が発生した時に記録されます。 LANケーブルの接続不良、SNMPカードへ設定したIPアドレスがESMPRO/ACの設定情報と一致していない、SNMPカードへのアクセス権の設定が正しく行われていない、または、自動電源制御装置側でHW不良が発生している等が考えられます。
				【備考】 ※ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.2g から通報対象となりました。	
1411	警告	○	○	****で電源異常が発生しています。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)に電源異常を検知した時に記録されます。
				【備考】 ※ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.1 から通報対象となりました。	
1412	警告	×	×	****で入力電圧が上昇しているため、トリムが発生しています。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)にトリムを検知した時に記録されます。
1413	警告	×	×	****で入力電圧が低下しているため、ブーストが発生しています。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)にブーストを検知した時に記録されます。
1414	警告	×	×	xxxxで電源異常(バッテリ温度異常)が発生しています。 ****	xxxxで示されるUPSで、電源異常(バッテリ温度異常)状態が 一定時間以上継続した場合に、記録されます。 ****は記録時の温度、温度監視の設定範囲値です。
1419	エラー	○	○	****で電源異常(故障)が発生しています。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)に電源異常(故障)を検知した時に記録されます。
				【備考】 ※ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.23から通報対象となりました。	
1420	警告	×	×	****を電源異常により切り離しました。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)に電源異常を検知し、切り離した(OFFする)場合に記録されます。

1421	警告	×	×	****に電源異常によるシャットダウン制御を行います。	接続しているUPSが電源異常のため、SERVER(********:SERVER名，IPアドレス)のシャットダウンを開始する場合に記録されます。
1422	情報	×	×	****をシャットダウン制御を行います。	SERVER(********:SERVER名,IPアドレス)が切断要因の成立等によってシャットダウンを開始する場合に記録されます。
1423	情報	×	×	xxxx の電源OFF制御(****)を行います。	UPS以外の手段で、xxxxで示すサーバの電源OFF制御を、****のデバイス(ICMBなど)制御により行った際に記録されます。
1424	情報	×	×	xxxx の電源ON制御(****)を行います。	UPS以外の手段で、xxxxで示すサーバの電源ON制御を、****のデバイス(LAN、ICMBなど)制御により行った際に記録されます。
1425	警告	×	×	xxxx のスケジュール情報が不正または存在しません。スケジュールによる監視は行われません。	監視要因にスケジュールONまたはスケジュールOFFが設定されているが、スケジュール情報を取得する事ができない場合に記録されます。スケジュールファイルが破壊されているか存在しない場合可能性があります。本イベント発生時は、スケジュールの有効期間およびスケジュールの内容を確認の上、再度スケジュールの設定を行って下さい。
1430	情報	×	×	****の電源が正常状態に復帰しました。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)の電源が正常状態に復帰したことを確認したときに記録されます。
1431	情報	×	×	****を電源異常による切り離しは解除されました。	UPS(********:UPS名,IPアドレス)の電源異常を検知し、UPSの切り離しが解除された場合に記録されます。
1434	警告	○	○	********でバッテリ状態の消耗を検出しました。早急にバッテリ交換する必要があります。	SNMPにて監視中のUPS(********:UPS名,IPアドレス)で、バッテリ状態の消耗が検出されました。該当するUPS HWを確認してください。
1437	警告	×	×	SERVER(********:SERVER名)から現在の構成情報と一致しないデータを受信しました。AC Management Console の設定内容を確認してください。	SERVER(********:SERVER名)にて設定されている構成情報とローカルで持つ構成情報が一致していません。正しい構成情報をローカルおよびSERVER(********:SERVER名)のサーバに設定し、ESMPRO/ACサービスを再起動してください。
1438	警告	×	×	制御端末の停電シャットダウン処理に連動して、管理対象の連動端末へシャットダウン制御を行います。	制御端末が接続しているUPSの電源異常により、連動端末のシャットダウン処理が開始された場合に記録されます。

⑤iStorage関連ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
1501	警告	×	×	iStorage(***.***.***.***)との通信に異常が発生しています。	iStorage(********:IPアドレス)との通信に異常が発生した時に記録されます。LANケーブルの接続不良、iStorageへ設定したIPアドレスがESMPRO/ACの設定情報と一致していない、または、iStorageのHW不良が発生している等が考えられます。
1502	情報	×	×	iStorage(***.***.***.***)との通信が正常に回復しました。	iStorage(********:IPアドレス)との通信状態が回復した時に記録されます。
1503	警告	×	×	iStorage(***.***.***.***)に異常が発生しています。	iStorage(********:IPアドレス)の状態異常を検出した時に記録されます。iStorageに障害が発生していないか確認してください。
1504	情報	×	×	iStorage(***.***.***.***)の状態が正常に回復しました。	iStorage(********:IPアドレス)の状態が正常に回復した時に記録されます。
1505	警告	×	×	iStorage(***.***.***.***)のAC連動Modeが非連動に設定されています。iStorageを起動した後に、連動する設定に変更してください。	iStorage(********:IPアドレス)のAC連動Modeが非連動であることを認識した場合に記録されます。UPSによる電源投入してもiStorageが利用できる状態になりません。iStorageの設定を見直して、AC連動する設定に変更してください。
1506	情報	×	×	iStorage(***.***.***.***)へ停止処理を要求しました。	iStorage(********:IPアドレス)へ停止要求を行った際に記録されます。

1507	情報	×	×	iStorage（***.***.***.***）の停止処理が完了しました。	iStorage(********：IPアドレス)への停止要求が完了した際に記録されます。
1508	エラー	×	×	iStorage（***.***.***.***）の停止処理中にエラーが発生しました。しばらくした後にサーバへのシステム停止処理を行います。	iStorage(********：IPアドレス)に停止処理を要求した後にiStorageに異常が発生した場合に記録されます。iStorageに障害が発生していないか確認してください。

⑥設定時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
2101	エラー	×	×	ユーザインタフェースから不正なコマンドを受信しました。ユーザインタフェースのバージョンおよび動作状態を確認して下さい。 エラー情報：****	ESMPRO/ACサービスがサポートされていない不正なコマンドを受信した時に記録されます。サービスとユーザインタフェースとのバージョンが異なっている可能性があります。
2102	エラー	×	×	設定中に、自動電源制御装置との通信に失敗しました。原因として、自動電源制御装置の構成情報が間違っているか、接続状態を含むハードウェア異常が考えられます。設定および接続状態を確認してください。 エラー情報 Command ：**** ErrorNo.：****	サービスがユーザインタフェースから受信したコマンドを自動電源制御装置に発行したが正常に実行できなかった時に記録されます。 自動電源制御装置との通信異常が発生している可能性があります。
2103	エラー	×	×	設定中に、自動電源制御装置でエラーが発生しました。ユーザインタフェースから、自動電源制御装置へ送信されるコマンドシーケンスが不正です。ESMPRO/ACサービスは処理を継続しますが、自動電源制御装置への設定は正しく行われていないため、自動運転は正常に行われません。 エラー情報 Command：**** ErrorNo.：****	サービスがユーザインタフェースから受信したコマンドを自動電源制御装置に発行したが正常に実行できなかった時に記録されます。ユーザインタフェースからの送信データ不正、シーケンス不正、または自動電源制御装置の異常が考えられます。

2104	エラー	×	×	設定中に自動電源制御装置でエラーが発生しました。送信されたコマンドのデータ値が不正です。送信されたデータ値は自動電源制御装置がサポートしている設定値の範囲外です。自動電源制御装置サポート範囲のデータを設定してください。 エラー情報 Commnad : **** ErrorNo. : ****	ユーザインタフェースから送信されたデータが、I-UPSのサポート範囲外のデータである時に記録されます。
2106	エラー	×	×	設定中に、自動電源制御装置からエラーを受信しました。ESMPRO/ACサービスを終了します。 エラー情報 Command : **** ErrorNo. : ****	ユーザインタフェースからのデータ設定中に 自動電源制御装置で致命的なエラーが発生した時に記録されます。このイベントが記録された場合、ESMPRO/ACサービスは処理を継続できないため強制終了します。原因として、自動電源制御装置の異常が考えられます。

⑦自動運転設定ファイル自動更新ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
2301	情報	×	×	自動電源制御ファイルの配信を確認しました。 ESMPRO/ACサービスは、配信された自動電源制御ファイルでの制御を開始します。	自動電源制御ファイル配信時の自動更新設定時に、自動電源制御ファイルが配信され場合に記録されます。本メッセージ記録以降、配信された自動電源制御ファイルでの運用に切り替わります。
2302	情報	×	×	自動電源制御ファイルの配信を確認しました。	自動更新機能が設定されていない場合に、自動電源制御ファイル配信を確認した時に記録されます。本イベント記録時には、配信ファイルによる自動電源制御への自動更新は行われません。
2303	エラー	○	×	自動電源制御ファイルの自動更新に失敗しました。配信された自動電源制御ファイルでの制御は行われません。	自動電源制御ファイルの配信を確認後の自動更新処理に失敗した場合に記録されます。自動電源制御ファイルにESMPRO/ACサービスがアクセスできない可能性があります。配信ファイルのアクセス権および、配信されたファイルに対して他からアクセスがないことを確認して下さい。 また、配信された自動電源制御ファイル情報および、元の自動電源制御ファイル設定状態を点検して下さい。
2401	エラー	○	×	次回のスケジュールによる自動電源投入(予定時刻: xxxx/xx/xx xx:xx) は、出来ない恐れがあります。 現在のPowerChutePlus環境では、** 以上先のスケジュールによる自動起動は制御できません。	使用しているUPS装置または使用しているUPS制御ソフトウェアの制限により、自動運転制御ファイルに設定した次回スケジュール自動電源投入が出来ない恐れがあります。 次回スケジュール自動電源投入の時刻を見直すか、または次回の電源投入を手操作で行う必要があります。

⑧電源投入／切断時の登録ジョブ起動機能実行時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
3101	エラー	○	×	電源切断時に起動するジョブ登録情報を取得できませんでした。電源切断時の登録ジョブ起動機能は実行できません。 エラー情報 Function : ****	電源切断時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルにアクセスできない時に記録されます。登録ジョブファイルが存在しないかジョブ登録ファイルのアクセス権不一致が考えられるため、ファイル状態を確認して下さい。
3102	エラー	○	×	タイムアウトが発生したため、電源切断時の起動ジョブ登録情報に設定されているジョブの実行を中断しました。登録ジョブの再検討もしくはタイムアウト時間の延長を行ってください。 ジョブ : ****	電源切断時の登録ジョブ起動機能で設定されているタイムアウト時間内にジョブを終了する事ができなかった場合に記録されます。 本イベントが記録された時は、タイムアウト時間を延長するか登録ジョブを見直して下さい。
3103	エラー	○	×	電源切断時の登録ジョブ起動機能が設定されていますが、登録ジョブエントリがありません。ジョブ登録情報を確認して下さい。	電源切断時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルに登録されているジョブが1つもない場合に記録されます。
3104	エラー	○	×	電源切断時の起動ジョブ登録情報が不正です。登録されているジョブは実行することができません。登録するジョブ名は、ドライブ名を含むフルパス指定で登録して下さい。 ジョブ : ****	電源切断時の登録ジョブ起動機能で、登録されているジョブを実行する事ができない場合に記録されます。本イベントが記録された時は、登録ジョブ情報が間違っている可能性があるので、登録情報の内容を確認して下さい。

3105	情報	×	×	電源異常切断時のジョブを起動しました。 ジョブ：****	電源異常が発生し、電源異常切断時に登録されているジョブが起動された場合に記録されます。起動されたジョブはすべて記録されます。
3106	情報	×	×	電源切断時に登録された起動ジョブが、すべて完了しました。	電源切断時の登録ジョブ起動機能で、登録されているすべてのジョブの起動から終了までが正常に行われた場合に記録されます。
3201	エラー	○	×	電源投入時に起動するジョブ登録情報を取得できませんでした。電源投入時の登録ジョブ起動機能は実行できません。 エラー情報 Function：****	電源投入時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルにアクセスできない時に記録されます。登録ジョブファイルが存在しないかジョブ登録ファイルのアクセス権不一致が考えられるため、ファイル状態を確認して下さい。
3202	エラー	○	×	電源投入時の登録ジョブ起動機能が設定されていますが、登録ジョブエントリがありません。ジョブ登録情報を確認して下さい。	電源投入時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルに登録されているジョブが1つもない場合に記録されます。
3203	エラー	○	×	電源投入時の起動ジョブ登録情報が不正です。登録されているジョブは実行することができません。登録するジョブ名は、ドライブ名を含むフルパス指定で登録して下さい。 ジョブ：****	電源投入時の登録ジョブ起動機能で、登録されているジョブを実行する事ができない場合に記録されます。本イベントが記録された時は、登録ジョブ情報が間違っている可能性があるので、登録情報の内容を確認して下さい。

⑨ESMPRO/JC,ESMPRO/JMSS連携時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
4101	エラー	○	×	電源切断時のジョブ監視を実行できません。下記のジョブスケジューリングソフトウェアが1つもインストールされていない可能性があります。電源切断時のジョブ監視は行いません。 監視対象ジョブスケジューリングソフトウェア：** ※1 "**"には、JC,JMSS等を表示する。	電源切断時のジョブ監視機能が設定されているが、監視を実行できない時に記録されます。イベントログに記載されている、「監視対象ジョブスケジューリングソフトウェア」が一つもインストールされていない事が考えられる為、記述されている「監視対象ジョブスケジューリングソフトウェア」のインストール状態を確認して下さい。
4102	エラー	○	×	電源切断時のジョブ監視中にタイムアウトが発生しました。電源切断時のジョブ監視タイムアウト値を変更するか、ESMPRO/**での設定を見直して下さい。 ※1 "**"には、JC,JMSS等を表示する。	電源切断時のジョブ監視機能のタイムアウト設定時間を経過したが、連携を行っているジョブスケジューリングソフトウェアからジョブ実行完了通知を受信できなかった時に記録されます。本イベントが記録された時、ESMPRO/ACは、連携中のジョブスケジューリングソフトウェアに対して、強制切断要求を発行し、強制的にシャットダウンを開始します。ジョブスケジューリングソフトウェアとの連携を正常に完了するためには、タイムアウト値を変更するか、ジョブスケジューリングソフトウェアの設定を見直す必要があります。
4103	エラー	○	×	ESMPRO/**との通信処理に失敗しました。ESMPRO/**が正常に動作していない可能性があります。電源切断時のジョブ監視を中断します。 エラー情報：XXXX ※1 "**"には、JC,JMSS等を表示する。	電源切断時のジョブ監視機能が設定されているが、連携対象となっているジョブスケジューリングソフトウェアとの通信で異常が発生し、ESMPRO/ACが、ジョブスケジューリングソフトウェアとの連携を中止し、電源切断処理を行った時に記録されます。本イベント発生時は、監視対象となっているジョブスケジューリングソフトウェアの動作状態を確認して下さい。

⑩Client連携のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express通報	メッセージ	説明
4201	情報	×	×	ESMPRO/CMのPowerOff.exeを使用して、クライアント管理ID、グループ管理番号の電源切断を実行しました。	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、ESMPRO/CMのPowerOff.exeを使用して、クライアント管理ID、グループ管理番号の電源切断を実行した時に記録されます。
4202	情報	×	×	ESMPRO/CMのPowerOn.exeを使用して、クライアント管理ID、グループ管理番号の電源投入を実行しました。	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、ESMPRO/CMのPowerOn.exeを使用して、クライアント管理ID、グループ管理番号の電源投入を実行した時に記録されます。
4203	エラー	○	×	ESMPRO/CMのPowerOff.exeを使用したクライアント管理ID、グループ管理番号の電源切断に失敗しました。 エラー情報：****	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、ESMPRO/CMのPowerOff.exeを使用して行うクライアント管理ID,グループ管理番号の電源切断に失敗した時に記録されます。本イベントが記録された時は、ESMPRO/ClientManagerのインストール状態を確認して下さい。
4204	エラー	○	×	ESMPRO/CMのPowerOn.exeを使用したクライアント管理ID、グループ管理番号の電源投入に失敗しました。 エラー情報：******	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、ESMPRO/CMのPowerOn.exeを使用して行うクライアント管理ID,グループ管理番号の電源投入に失敗した時に記録されます。本イベントが記録された時は、ESMPRO/ClientManagerのインストール状態を確認して下さい。
4205	警告	×	×	ESMPRO/CMクライアントの電源制御が設定されていますが、クライアント管理IDまたは、グループ管理番号が登録されていません。	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、クライアント管理IDまたはグループ管理番号が登録されていなかった場合に記録されます。
4206	エラー	×	×	ESMPRO/CM連携で異常が発生しました。 エラー情報：****	クライアントの電源ON/OFF機能が設定されてる場合に、ESMPRO/CM連携時で異常が発生した場合に記録されます。